

## 平成13年度試験研究成果

区分	指導	題名	日本短角種産肉能力検定（間接法）成績			
〔要約〕 平成12年11月から平成13年11月までに終了した日本短角種産肉能力検定（間接法）の結果、良川号の成績が優れていたため人工授精用基幹種雄牛として選抜する。						
キ - ワ - ド	日 本 短 角 種	産 肉 能 力 検 定	間 接 法	畜産研究所 家畜育種研究室		

### 1. 背景とねらい

産肉能力検定（直接法）の成績が優れた種雄牛について、その後代を同一環境下で肥育し、増体量、飼料の摂取量、飼料効率、肉量及び肉質を調査し、遺伝的産肉能力を推定する。

### 2. 技術の内容

#### (1) 検定種雄牛は5頭であった。

ア 川 辰：日増体量（DG）は1.13kg、ロース芯面積は47.7cm<sup>2</sup>と標準的であったが、皮下厚は3.2cmと劣った。脂肪交雑等級（BMS）は0.95と優れた。肉質等級は3が4頭、2が2頭、1が1頭であった。

イ 玉97018：DGは1.16kgと標準的であった。ロース芯面積は50.3cm<sup>2</sup>と優れ、BMSは0.57と劣った。肉質等級は3が5頭、2が2頭であった。

ウ 岩 国：DGは1.23kg、ロース芯面積は49.3cm<sup>2</sup>と優れたが、皮下厚は3.1cmと劣った。BMSは0.86であった。肉質等級は3が5頭、2が2頭であった。

エ 良 川：DGは1.20kgと優れた。ロース芯面積は44.6cm<sup>2</sup>と標準的であったが、BMSは1.17と特に優れた。肉質等級は4が1頭、3が5頭、2が2頭であった。

オ 藤 幸：DGは1.24kgと優れた。ロース芯面積は47.6cm<sup>2</sup>、BMSは0.75と標準的であった。肉質等級は3が2頭、2が6頭であった。

(2) 5セットの平均値は、DG1.19kg、ロース芯面積47.9cm<sup>2</sup>、BMS0.86であった。S63～H13年度終了分67セットの平均（標準偏差）は、DG1.13kg、ロース芯面積44.7cm<sup>2</sup>、BMS0.70であった。

(3) 人工授精用基幹種雄牛として良川号を選抜する。

### 3. 指導上の留意事項

#### (1) 検定種雄牛の概要

名号	登録番号	生年月日	直接検定		血 統			産地
			年度	DG	父	母の父		
川辰	本1367	H8. 2. 7	9	1.15	川久（本 104）	大幸（本582）		安代町
玉97018	本1371	H9. 2. 19	10	1.22	川福（本1026）	琴房（本901）		公社玉山
岩国	本1350	H9. 1. 8	10	1.32	山久（本 747）	若波（予備601）		山形村
良川	本1370	H9. 2. 15	10	1.26	川久（本 104）	琴類1019（本429）		岩泉町
藤幸	本1337	H9. 1. 3	10	1.26	雲昭（本 581）	崎橋（本823）		山形村

#### (2) 検定方法

検定期間 44週（308日）

\* BSEの影響により出荷は岩国47週（329日）、良川47週（329日）

飼料の種類と給与方法

濃厚飼料：産肉能力検定飼料間検用を期首体重比1.8%制限給与

粗飼料：牧乾草及びデントコーンサイラージを不断給餌

### 4. 技術の適応地帯

日本短角種飼養地帯

### 5. 当該事項に係る試験研究課題

〔237〕日本短角種産肉能力検定間接法（S47～、国庫）

### 6. 参考文献・資料

(1) 日本短角種産肉能力検定検討会資料；農林水産省家畜改良センター奥羽牧場他，2001

7. 試験成績の概要

表1 検定成績一覧

検定牛	川辰 (n=7)	玉97018 (n=7)	岩国 (n=7)	良川 (n=8)	藤幸 (n=8)	平均 (67ㇿト)
開始時日齢	282.1	261.7	283.6	269.9	275.4	262.8
	± 16.8	± 14.2	± 9.4	± 13.3	± 3.2	± 22.0
開始時体重	359.3	362.6	312.4	285.7	268.0	273.3
	± 23.7	± 14.2	± 45.2	± 14.6	± 43.9	± 33.1
終了時体重 (308日時点)	708.5	720.9	692.3	654.3	651.0	620.7
	± 44.7	± 28.3	± 83.0	± 38.3	± 71.1	± 51.6
D G	1.13	1.16	1.23	1.20	1.24	1.13
	± 0.12	± 0.09	± 0.15	± 0.09	± 0.12	± 0.09
1 kg増体TDN	7.08	7.23	5.59	5.64	5.76	6.30
						± 0.39
枝肉歩留	63.2	60.8	60.1	60.2	59.8	61.8
	± 2.2	± 2.6	± 1.4	± 2.2	± 1.9	± 1.3
口一ス芯面積	47.7	50.3	49.3	44.6	47.6	44.7
	± 4.1	± 6.2	± 4.1	± 3.5	± 3.7	± 3.7
皮下脂肪厚	3.2	2.8	3.1	2.6	2.7	2.3
	± 0.6	± 0.4	± 1.0	± 1.0	± 0.5	± 0.4
バラ厚	7.5	7.3	5.5	4.9	6.6	
	± 0.5	± 0.6	± 0.3	± 0.8	± 1.1	
脂肪交雑	0.95	0.57	0.86	1.17	0.75	0.70
	± 0.36	± 0.17	± 0.32	± 0.56	± 0.29	± 0.18
推定歩留	72.1	72.8	71.5	71.3	72.7	72.7
	± 0.8	± 1.0	± 1.6	± 1.0	± 0.8	± 0.6
枝肉格付	A3(1) B3(3) A2(2) A1(1)	A3(4) B3(1) A2(2)	A3(3) B3(2)  B2(2)	B4(1) A3(2) B3(3) B2(2)	A3(2)  A2(5) B2(1)	
肉質等級 3以上割合	57%	71%	71%	75%	25%	

1) (枝肉歩留) = ( (冷屠体重) / (終了時体重) ) × 100

2) 平均は、S63～H13年度終了分67ㇿトの平均(標準偏差)

3) 枝肉成績は、畜産研究所による格付

\* 現在の凍結精液の供給種雄牛

種雄牛名号(登録番号)	血統(父/母の父)	間検終了年度
琴山(本1173)	(琴房/山富)	H 7
秋月(本1211)	(秋蛇1315/沢清)	H 8
松錦(本1259)	(松春/清房)	H 9
若鯨(本1314)	(山久/杉富)	H 1 1
高福(本1317)	(川福/正福52)	H 1 2